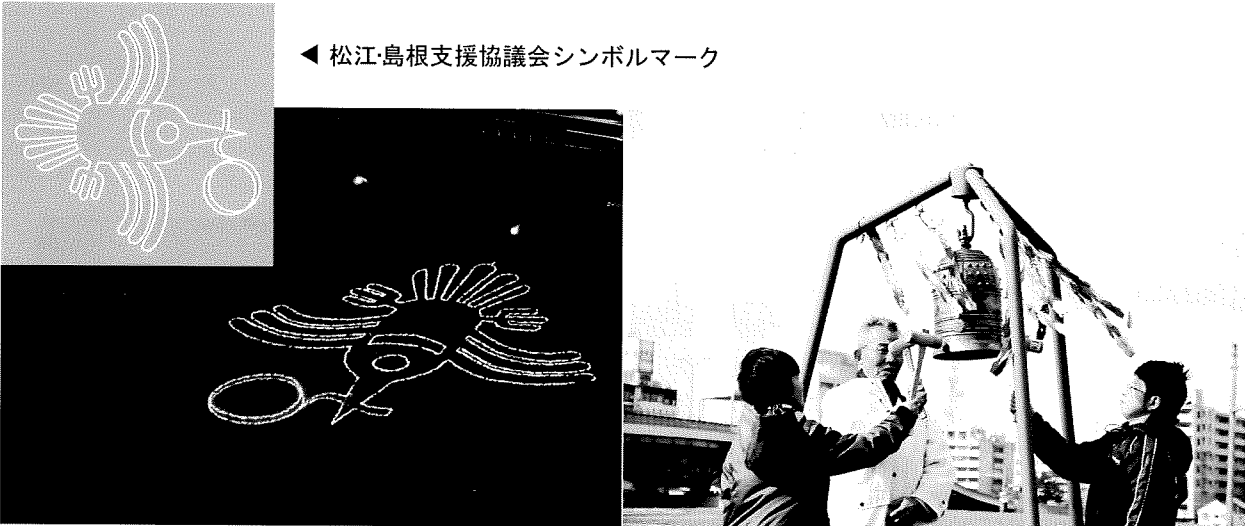


Volunteer Network 企業ボランティア No.24 2012 平成24年6月

松江 ネットワーク会議

企業ボランティア 松江ネットワーク会議事務局
 松江千鳥町70 松江ボランティアセンター内
 TEL 0852-27-8388 FAX 0852-24-1020

◀ 松江・島根支援協議会シンボルマーク



チドリライトアップ

鐘 付 き

この日のために、鎮魂の鐘を取り付ける器具をご提供いただきました企業ボランティア松江ネットワーク会議のまるなか建設株式会社様（中筋廣昭社長）はじめ、多くの皆様方のご支援をいただいた

このプロジェクトは、東日本大震災による被災地の復興を祈念する取組みで、地上絵・缶バッジ・LEDキャンドル工作・折鶴・光の輪製作（ライトアップ）といった活動が行われました。

企業ボランティア松江ネットワーク会議の皆様には、東日本大震災 松江・島根支援協議会へ参加・協力いただき厚くお礼申し上げます。

平成二十四年三月十一日（日）に松江市白潟公園において『チドリ』の縁結びの輪プロジェクト（主催：松江高専、東日本大震災松江・島根支援協議会、東日本大震災松江市民から支援する会）が開催されました。



東日本大震災 松江・島根支援協議会

代表 今岡 克己

「東日本大震災の被災地への支援を風化させない努力を」

ことをこの場をお借りして篤く御礼申し上げます。

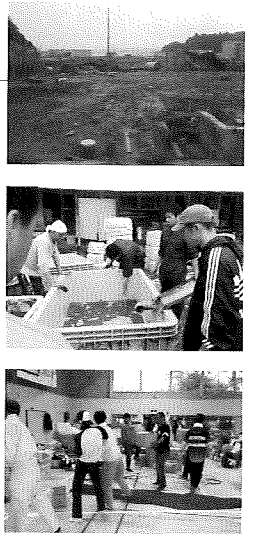
震災からの復興には長い年月と継続的な支援が大切です。とりわけ福島原発事故の収束は数十年単位の時間が必要と言われています。

私達の世代だけではなく、次の世代、その次の世代へと支援の輪を広げていく取り組みとして行われたこのイベントでは、ナスカの地上絵を模したチドリ縁結びの巨大絵を市内の小学生七〇名が描きました。

夕刻にはLEDのキャンドルライトが点灯され、その光景は参加した子供たちもきっと印象深く残ったものと思えます。被災地への支援を風化させない不断の努力を進めていきたいと思えます。より一層のご支援のほどよろしくお願いたします。

東日本大震災の被災地へのボランティア派遣

(株) 山陰合同銀行



■十月十三日（木）～十月十六日（日）
 東日本大震災にともない、当行からもボランティア活動に参加しました。ボランティア派遣に応募した三十一名が、石巻市牡鹿半島で四日間活動しました。

【活動内容】
 ①石巻市では平成二十三年十月十一日に全ての避難所が閉鎖されましたが、その後片付けや隣接した仮設住宅周辺の清掃活動を行ないました。
 ②牡鹿半島は震災の被害に加え台風十五号の被害も大きく、土砂災害も多発したこと、土砂崩れや河川の氾濫に対する土嚢作りを行ないました。
 ③震災で全滅し、今年度は諦められていた養殖用の仕掛けを、例年十二月の種付けに間に合わせるための、仕掛け柵・網復旧支援を行ないました。

*ボランティア感想文
 現地の人と実際に同じ作業をしながら震災の影響について知ることができたこと、震災で自宅も船もすべて失い、漁師という仕事をあきらめ別の仕事をしようとしたが、やっぱり海が好きで自分には漁師がなない。困難もたくさんあるが、こうやってボランティアの人に勇気をもらってる。ゼロからスタートですよ。笑顔で話された漁師さんの言葉。金ではなく、人と人とのつながりの大切さを痛感した。

第7回 松江市ボランティアフェスティバル

広がれボランティアの輪 東北支援 私にも、きっとできることがあろう

「松江市ボランティアフェスティバル」が三月二十五日、松江市総合福祉センター（千鳥町）において開催されました。

第七回 松江市ボランティアフェスティバル実行委員会が主催（松江市ボランティア連絡協議会、企業ボランティア松江ネットワーク会議、松江福祉協議会が構成）のフェスティバルでは今回、東日本大震災から一年が経過し、この出来事が風化しないようにする為にどんな支援ができるかを考える機会となるよう、東北支援私にも、きっとできることがあるをサブテーマに計画しました。

三十五の参加団体それぞれがブースを設け、展示や体験、販売や東北支援コーナーを設け災害支援写真パネル等の展示や東北の物販販売、バザーなどの協力を通して、来場した人たちと交流の輪を広げました。一般ボランティアをはじめ、実行委員、事務局スタッフ、また、沢山の高校生ボランティア延べ約三〇〇人の方がフェスティバルを支えました。

オープニングイベント、開会行事ではご来賓として松浦副市長、坂根副教育長をお招きし、松江第一中学校の吹奏楽部が見事な演奏を披露。松江市健康まちづくり課のまめ吉・まめ子、交通安全PRの着ぐるみ等も会場を盛り上げてくれました。

平田寛容実行委員長のあいさつの後、四階ステージでは島根あさひ訓練センターと市内ユーザーの方の指導犬デモンストレーション



オープニング



パネルディスカッション

とかわいい末次保育所園児の発表。また、午後は「私にも、きっとできることがある」パネルディスカッションが行われ、コーディネーター島根大学准教授の毎熊浩一氏、パネラーは市内在住で東北支援をなさっている、会社員 木村猛氏、ツインパロン奏者 斉藤浩氏、お手玉大使 高木文子氏、島根大学 学生 堀井敏行氏の四名が登壇しそれぞれの東北支援体験や活動内容を発表。自分たちに今後、何ができるかを改めて考える場となりました。

新規加入会員の紹介

（平成二十四年四月～平成二十四年五月まで）

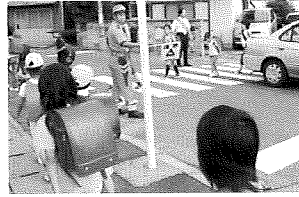
- 《一般会員》
- ☆松江民謡連 代表 竹内 松子 様
- 《個人会員》
- ☆勝部 隆 様
- ☆勝部 加代 様
- ☆丹羽野一徳 様



JAF島根支部の紹介

(社) 日本自動車連盟島根支部

島根県は東西の距離が約二〇〇Kmと大変横に長い地形でロードサービスに対応に苦慮していますが、徐々に進む高速自動車道の整備に合わせ、協力工場と連携をとりロードサービスの実施を図っています。県内での取り組みとして「地域密着」と「皆様に喜んでいただくJAF」を指した活動をしていきます。



平成十八年から毎朝事務所周辺にて実施しています。スクールガードのボランティア活動も引き続き実施し、今後も会員の皆様をはじめ、自動車ユーザーに対し安全・安心をお届けしてまいります。

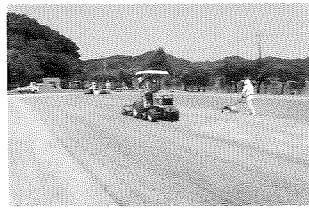
ボランティア活動について

株式会社 佐藤組

当社は、年間多くのボランティア活動に積極的に取り組んでいます。それは、当社のモットーの一つである仕事を通じて社会に貢献するを推進するとともに、地域に密着した事業を行ってきた私どもの皆様に對する感謝の気持ちでもあります。道路清掃、中学・高校生の現場体験学習、学校施設の整備、イベント活動など、建設業者ならではの活動を行っています。



除草作業状況



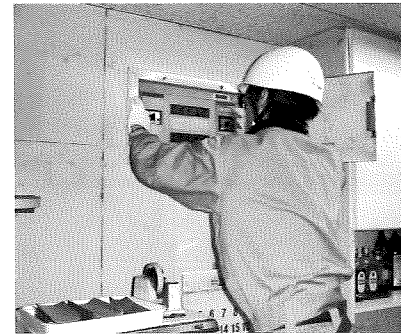
グラウンド整備状況

【活動紹介】島根県立松江ろう学校のグラウンド整備
除草や遊具周辺の砂入れ、グラウンドの整地を行いました。バックホウやダンプトラック、転圧ローラーに芝刈り機など、普段から工事で使用する機械を持ち込み作業しました。

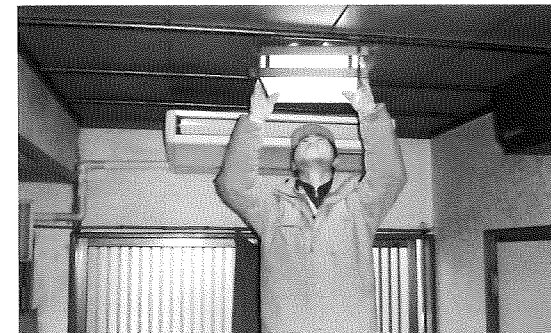
社会貢献活動の紹介

中国電力株式会社

島根支社ではグループ会社と一緒に、「堀川遊覧船めぐり」コースを気持ちよく遊覧していただくとうと、社屋南側の京橋川沿いの清掃・除草活動を実施しています。雑草が伸びた川端がすっきりと涼しげな遊覧コースになり、近隣のお客さまからは、「きれいにしてもらいよかった」と声をかけていただきました。松江営業所では、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、電気器具の清掃・簡易点検や、電気の上手な使い方のアドバイス等を実施しています。お客さまからは、「普段手の届かないところを清掃してもらい助かった」との言葉をいただきました。



電気設備点検



電気設備清掃



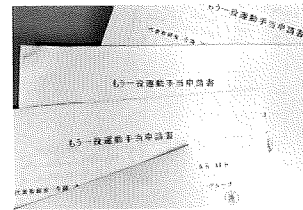
京橋川清掃

ワコムアイティの「もう一役運動」

株式会社 ワコムアイティ

溝口県知事は県職員に対し、地域振興の模範を示していることと呼びかけて「もう一役活動」実施を推進されています。それを参考に、弊社ワコムアイティにおいても仕事以外のボランティア活動に参加している社員に対して、月額千円の特別手当を出すことにしました。平成二十二年にはわずか二名でしたが、現在六名の社員が「もう一役運動」の申請を出してくれるようになりました。

PTA役員、児童クラブ会長、バトミントン協会役員、地域消防隊員など様々な活動に社員が積極的に参加するようになってくれたことは、大変嬉しいことです。自宅と会社だけの人間関係だけでなく、様々な社会参加を通じて大きく社員が成長していただけることが、我々にとってかけがえのない財産となります。これからも、もっと多くの申請書があがってくることを心待ちにしています。



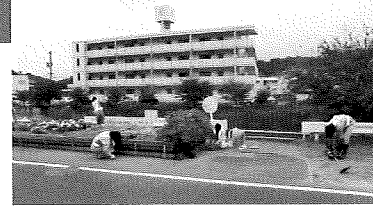
道路愛護団を設立

(株) 日西テクノプラン

当社では、平成二十一年七月に松江市の道路環境保全事業に賛同し、道路愛護団を設立しました。活動内容は年間二回、十数名で会社前の市道一〇〇mの除草清掃を行っております。当該道路は、全幅三mの道路で地域住民の皆様の生活道路として活用されており、地域の皆様に気持ちよい生活道路になればと思っております。また、この活動を継続し地域社会へ少しでも貢献したいと考えております。



活動写真



クリーン運動

カナツ技建工業 (株)

私たちカナツ技建工業は、平成十二年より毎年、六月の環境月間や初秋の十一月に、グループ各社役員とその家族あわせて約一五〇名が市内四箇所に分れ、ゴミ拾いなどの清掃活動を行っています。宍道湖周辺をはじめ、古浦海水浴場、小波海水浴場(写真)、北浦海水浴場等、松江の水辺を中心に活動を展開しています。



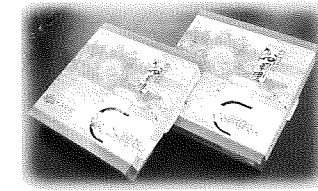
クリーン運動写真

継続的に出来ること

(資) 一文字家

当社では「継続的に出来ること」として様々な取り組みを行っております。二〇〇六年東京ビッグサイトで開催された食品総合展示会「フアベックス」にて「一文字家・ユニバーサルデザイン弁当」を発表。全国に向け、提案いたしました。現在でも多方面より多くのお問合せを頂戴しております。又、工場内から毎日出る食品残さを境港市の山陰エコシステムに送り、これを堆肥にして、それを使って育てた野菜を買って料理を作るという食のリサイクルループを完成させました。

その他にも段ボール、オフィスペーパーは再生紙に、食用油の廃油は、大阪で石鹼にリサイクル。また、社内中の使用済み電球は、パナソニックと契約しすべてリサイクル電球にしております。



ユニバーサルデザイン弁当